

「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画に係る取組 ～丸亀市立飯野小学校で試行授業を実施～

- 国土交通省では、「水防災意識社会再構築ビジョン」の「緊急行動計画」として平成29年6月に「防災教育の促進」が位置付けられました。
- この流れを受け土器川では、平成29年よりモデル小学校(丸亀市立飯野小学校)での試行授業に対し、教師用解説書、発問計画書、板書計画書等の資料作成の支援を実施してきました。
- 試行授業の内容は、以下のように4年生授業3コマで実施しました。
 - 1時限目(2/7) : 自然災害のおこりやすい国土(教職員単独で実施)
 - 2時限目(2/9) : 自然災害からくらしを守るために(国交省職員が一部説明)
 - 3時限目(2/15) : 自然災害に備えてできることを考えよう(班別勉強に国交省職員が参加)
- 担当した先生からは、「子供達が普段から身近に知っている土器川が題材であったため、大変効果があった。」「授業の中に国交省職員が入ってくれたことが大変良かった。」「子供達にも勉強になったが、自分も知識が増え今後の指導に役立った。」など取組の成果がありました。
- 今後、作成した防災教育資料を「土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」に関連する各市町の学校に情報共有し、円滑かつ迅速な避難のための取組を推進します。

